基本条件の照査項目一覧表 (舗装設計)

(照 査①)

基本条件の照査項目一覧表（舗装設計1）

| No. | 項目 | 主な内容 | 提示資料 | 照査① | | 備考 |
| --- | --- | --- | --- | --- | --- | --- |
| 対象 | 照査 |
| 1  2  3  4  5  6 | 設計の目的、 主旨  貸与資料の確認  現地踏査結果  設計条件  施工区分  幾何構造線形条件 | 1) 目的・主旨を理解したか。  2) 設計の主な項目、工程等について具体的内容を把握したか。  1) 貸与資料の不足、追加事項があるか。  2) 事務所、路線毎に統一された基準要領があるか。  1) 工事進捗状況等現地状況を把握したか。  2) 構造物等の位置および形式を把握したか。  3) 沿道の環境状況を把握したか。  4) 用排水構造物および支障物件(地下埋設物を含む)を  把握したか。  5) 施工時の留意事項を把握したか。  1) 幾何構造条件の確認。(道路構造、設計速度、計画交通  量横断構成、暫定施工、平面・縦断線形の確認)  2) 適用すべき諸基準の確認。  3) 関連する設計との整合がとれているか。  (土工、トンネル、橋梁、施設、雪氷、環境)  1) 暫定施工時の施工区分。  2) 拡幅時の施工区分。  3) 構造物等の位置およ び形式の確認。  (橋梁、トンネル、溝渠工、擁壁等)  4) 連絡等施設および付帯工の位置、形式の確認。  1) 平面および縦断の設計値は適正か。  2) 幾何構造の使用値は適正か。  3) 暫定施工時の車線等のすり付けば適正か。  4) 橋梁、トンネル坑口部とのすり付けば適正か。 | 作業計画書  〃  打合せ・記録簿  〃  現場写真等  〃  〃  〃  〃  打合せ・記録簿  〃  〃  打合せ・記録簿  〃  〃  〃  打合せ・記録簿  〃  〃  〃 |  |  |  |

| No. | 項目 | 主な内容 | 提示資料 | 照査① | | 備考 |
| --- | --- | --- | --- | --- | --- | --- |
| 対象 | 照査 |
| 7  8  9  10 | 縦断、 横断設計  排水工  舗装設計  共通工 | 1) 幅員構成要素の確認。  2) 特殊部の位置と構成要素の確認。  (登坂車線、非常駐車帯、堆雪余裕幅、環境施設帯)  3) 横断構造の確認。 (舗装厚、路床路体厚、切土部路床の  置換厚、中央分離帯構造、地下排水工の有無、凍結深)  4) PH ・PHE表示箇所の確認。  5) 車線が移行する場合のPH・PHEの確認。  6) 横断勾配の確認。  1) 流出量の算定は適正か。(集水域、流出係数、降雨確率  年、確率降雨強度、設計降雨強度の決定)  2) 計画通水量の決定。(勾配、粗度係数)  3) 排水路の断面決定。(断面決定で余裕が見込まれているか)  4) 排水勾配は適正か。(流速の許容範囲か)  1) 設計条件を確認したか。（交通量区分、舗装の設計期間、  舗装の種別、舗装構造、疲労破壊輪数、舗装計画交通量、  設計CBR、必要TA、適用箇所、寒冷地域の凍結深さ等）  2) 特殊箇所 (軟弱地盤地域等) の暫定舗装計画の有無。  3) 特殊箇所 (橋梁、トンネル、本線ボックスカルバート内)  の舗装種別および舗装構造の適用。  4) 連絡等施設。(ランプ部、駐車場およびチェーン脱着場、  バスストップ、料金所広場、管理施設) の舗装種別および  舗装構造の適用。  5) 交通安全、交通管理施設等の配置は適正か。  6) 仕様規定か性能規定を確認したか。  7) 規定条件を満足しているか。  8) 再生材の使用は考慮されているか。  また、再生材は所定量入手可能か確認したか。  9) 特別箇所(軟弱地盤、低盛土等)の路床改良の要否を確認したか。  10) 路盤材料は市場性や地域性などを考慮しているか。  また、隣接工区での使用状況等を確認したか。  1）設計施工基準を持たない新しい材料・製品・構造部材等の  　採用条件及び採用範囲は確認したか。 | 打合せ・記録簿  〃  〃  〃  〃  〃  打合せ・記録簿  〃  〃  〃  打合せ・記録簿  〃  〃  〃  〃  〃  〃  〃  〃  〃  打合せ・記録簿 |  |  |  |

細部条件の照査項目一覧表 (舗装設計)

(照 査②)

細部条件の照査項目一覧表（舗装設計2）

| No. | 項目 | 主な内容 | 提示資料 | 照査② | | 備考 |
| --- | --- | --- | --- | --- | --- | --- |
| 対象 | 照査 |
| 1  2  3  4  5 | 施工計画  設計計画  数量計算  縦断、 横断設計  排水工 | 1) 工区分けは適正か。(暫定施工の有無を含む)  2) 施工性に問題はないか。  3) 暫定施工の考え方に問題はないか。  1) 片勾配、拡幅のすり付けに問題はないか。  2) 用・排水の系統および通水断面に問題はないか。  1) 数量算出要領により確認を行ったか。  1) 路肩折れ、サーフェスダウンの有無。  2) 切土部の保護路肩の構造の確認。  (積雪寒冷地域の整合性)  3) 横断勾配のすり付けの確認。  (最急勾配、すり付け率等が適正か)  4) 合成勾配の確認。  1) 排水管等の最小土被りは適正か。  2) 流末排水の取付位置の確認。  3) 排水系統の決定と流域区域の確認。  4) 排水系統を変更していないか。  5) 排水構造物の工種の決定。  (用排水構造物標準設計の適用)  6) 積雪寒冷地域における路肩等の滲み出し水の対策は適正か。  7) 縦断線形のサグ付近の排水勾配が確保されているか。  8) 切土部が連続区間で長い下り坂、または長い上り坂が  連続する場合の路肩排水は適正か。 | 打合せ・記録簿  〃  〃  打合せ・記録簿  〃  打合せ・記録簿  設計図書  〃  〃  〃  設計図書  〃  〃  〃  〃  〃  〃  〃 |  |  |  |

| No. | 項目 | 主な内容 | 提示資料 | 照査② | | 備考 |
| --- | --- | --- | --- | --- | --- | --- |
| 対象 | 照査 |
| 6  7  8  9 | 舗装設計  防護さく工  立入防止さく工  眩光防止施設エ | 1) 舗装工の設計は適正か。（舗装材料、舗装構成、構築路床等）  2) コンクリート舗装の目地割および機能に応じた目地の  使い分けが適正か。  3) コンクリート舗装版の補強 (偶角部の補強、橋梁取付  部、被りの薄いボックスカルバートの取付部)が適正か。  4) 踏掛版設置箇所およ び位置の確認。  5) 中央分離帯構造 (中央分離帯地下排水工を含む) は適正か。  6) 暫定時の中央分離帯構造 (中央分離帯地下排水工を含む)  は適正か。  7) 中央分離帯開口部の構造および設置間隔は適正か。  8) 非常用開口部の構造および設置位置は適正か。  (他の施設等との関係は適切か)  9) 暫定施工時の設計の場合、完成時の施工性に対して  十分な配慮がされているか。  10) 段階施工のできる設計となっているか。  11) 再生材の使用は適正か。  12) 従道路及び車輌乗り入れ部の舗装構成は適正か。  1) 路側、中央分離帯、連絡等施設、関係する一般道路等  に設置する防護さくの設置場所および防護さくの形式、  種別、使用 区分の適用は適正か。  2) 橋梁、溝渠工等の構造物区間、地下埋設物 (地下排水  工、通信管路等) の設置箇所、設置位置の確認と適用  する防護さくの形式、種別、使用区分、基礎工等の適  用は適正か。  3) 防護さく相互の接続およびすり付け方法、中間端末、  端末部の構造と処理が適正か。   1. 設置区間、設置位置、種別および形式の適用が適正か。   1) 設置区問および種別の適用 は適切か。 | 設計図書  〃  〃  〃  〃  〃  〃  〃  〃  〃  〃  〃  設計図書  〃  〃  設計図書  設計図書 |  |  |  |

| No. | 項目 | 主な内容 | 提示資料 | 照査② | | 備考 |
| --- | --- | --- | --- | --- | --- | --- |
| 対象 | 照査 |
| 10  11  12  13 | 落下物防止さく工  路面標示工  視線誘導標工  共通工 | 1) 交差道路、鉄道等に対して機能を果たす構造、範囲の  確保が適正か。  1) 路面標示の種類の適用および標準区域外の誘導等およ  びすり付け方法が適正か。  1) 設置区間、設置場所および種類の使用区分、設置間隔、  設置位置が適正か。  1）道路構造物の部材の一部の損傷等が原因となって構造等の  　崩壊等の致命的な状態に陥る可能性を可否した設計となって  　いるか。  2）点検や調査を行うための通路が確保されているか。  3）補修・補強が想定される部材について、補強・補修を行う  　想定ができた設計とされているか。  4）設計要領との違い、設計要領に基づかない場合の根拠の  　記述はあるか。 | 設計図書  設計図書  設計図書  設計図  打合せ・記録簿  〃  〃  〃 |  |  |  |

成果品の照査項目一覧表 (舗装設計)

(照 査③)

| No. | 項目 | 主な内容 | 提示資料 | 照査③ | | 備考 |
| --- | --- | --- | --- | --- | --- | --- |
| 対象 | 照査 |
| 1  2  3  4  5 | 設計計算書  設計図  数量計算書  施工方法の検討  設計調書 | 1) 打合わせ項目は反映されているか。  2) 安定計算結果は許容値を満たしているか。  3) 許容応力度の取り方は正しいか。  4) 用排水の流出量と通水量を照査したか。  5）赤黄チェック等による指摘内容に基づき、設計計算書を適正に  修正したか。  1) 縮尺は契約図書と整合しているか。  2) 打合せ事項は反映されているか。  3) 構造物の全体一般図に必要な項目は記載されているか。  4）表現方法は適正か。  5) 分かり易い注記がついているか。  6) 設計計算書の結果が正しく図面に反映されているか。  7）赤黄チェック等による指摘内容に基づき、設計図を適正に修正  　したか。  1) 数量計算は数量算出要領および打合せ事項と整合して  いるか。(有効数字、位取り、単位、区分等)  2) 数量計算に用いた寸法、記号は図面と一致しているか。  3) 数量とりまとめは、種類毎に、材料毎に、打合せ区分毎  にまとめられているか。  4）赤黄チェック等による指摘内容に基づき、数量計算書を適正に  修正したか。  1) 工事用道路、運搬路計画は適正か。  2) 施工ヤード、施工スペースは確保されているか。  3) 安全性は配虚されているか。  4) 暫定施工、完成施工との整合はとれているか。  1) 調書の記入は、適正か。  2) 設計条件、幾何構造基準、構造物の寸法および概算数量等  に問題はないか。 | 設計計算書  〃  〃  〃  〃  設計図  〃  〃  〃  〃  〃  〃  数量計算書  〃  〃  〃  報告書  〃  〃  〃  設計調書  〃 |  |  |  |

| No. | 項目 | 主な内容 | 提示資料 | 照査③ | | 備考 |
| --- | --- | --- | --- | --- | --- | --- |
| 対象 | 照査 |
| 6  7  8 | 設計報告書  赤黄チェック  TECRISの登録 | 1) 打合せ事項は反映されているか。  2) 条件設定の考え方が整合しているか。  3) 比較、検討の結果が整理されているか。  4) 施工に際しての留意事項が記述されているか。  5) 設計基準値を技術指針等より引用している場合には出  典図書名およびページを明記しているか。  1）赤黄チェック等により照査したか。  1) TECRISの登録はされたか。  2）TECRISの内容について、発注者と確認を行ったか。 | 報告書  〃  〃  〃  〃  赤黄チェック  登録証明書  〃 |  |  | ※赤黄チェックの資料は  監督員に提出し、確認結  果の回答時に返却する |